



# 村山荘広報誌 スマイル

新春号 No.45

発行日 平成 30 年 6 月 1 日

発行責任者 手塚真一

編集委員 鈴木千絵 白石朋子 小沼洋一 廣橋紀枝

発行所 社会福祉法人村山苑 救護施設村山荘

東京都東村山市富士見町 2-7-5

TEL 042-391-1262/FAX 042-397-4609

ホームページ

<http://www.murayamaen.or.jp/murayamasou/>

表紙写真：H30.5月 野外料理会（おにぎり作りの様子）

目次 ○村山荘の今昔

○村山荘あれこれ

## 村山荘の今昔

### ～戻って来て感じたこと～

今年度、人事異動で村山荘に戻って来た職員が 2 名います。両名に、村山荘に戻って来た感じた事や、今後の抱負を綴ってもらいました。

\*\*\*\*\*

副施設長 星野 澄子

私は 16 年ぶりに村山荘に戻ってきました。知っている利用者さんが十数人いらっしゃり、ちょっとホッとしました。村山荘ではここ 3 年ぐらいは毎年 25 人程度の方が入退所しているとの事。通過型施設として、地域や他施設への移行に取り組んでいるのが感じられます。入所早々から、

居宅生活の訓練に取り組んでいる利用者の方もいます。16 年前はそういった事業をこれから始めようとしていて、村山荘利用者だけでなく、通所事業には地域に利用して頂ける方がいないか福祉事務所に問い合わせた記憶があります。救護施設の在り方も随分変わってきていますね。

行事はお花見も野外料理会も当時からありました。お花見は当時多摩湖に歩いて行ったり、中央公園に行ったりしていました。中央公園の桜今では大きくなり見ごたえがありますが、当時は植えたばかりで、木が小さくて不評でした。それで村山荘には立派な桜があると、グラウンドのしだれ桜の下で花見を始めたような気がします。野外料理会も、その頃始めた行事でした。旅行も全員で行くのではなく、小

グループでの旅行を始めました。今でも続いているのは感無量です。

この広報誌『スマイル』も当時名前を公募して、今のように写真がいっぱいできいではなく、白黒で発行しました。建物はあまり変わった感じがしませんが、居室入り口のドアに当時はのぞき窓があり、プライバシー保護が叫ばれるようになり、窓に室内が見えないように葉っぱのプリントのシールを貼った思い出があります。事務所の中のキーホルダー・電卓などに見覚えがあったり、ラベルに私の書いた文字があったり、私の名前の付いた制服を着ている人が居たりと村山荘の物持ちの良いのにびっくりです。

村山荘は時間がゆったり流れ、生活の場であることを感じます。通過型施設とは言っても、利用される皆さんに良い思い



出が出来るといいなと思います。早く皆さんの名前とお顔を覚えて、また一緒に楽しんで過ごしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

\*\*\*\*\*

相談員 石渡 篤史

さつき荘から3年ぶりに村山荘に異動いたしました石渡と申します。社会福祉法人村山苑はさつき荘と村山荘の2つの救護施設を運営しており、その役割や目的は当然同じです。今回は「戻って感じたこと」というテーマですが、逆にさつき荘の紹介をしたいと思います。

まず、利用者数は村山荘の約半分の54名で、1階が男性(24名)、2階が女性(30名)です。4人部屋がほとんどですが、2階の援助員室の隣だけは2人部屋です。女性の居室は作業場内にその一部を兼ねており、当初違和感がありました。作業場が2階にあることで村山荘のように靴を履き替え別棟に移る手間はなく、利用者さんはスムーズに作業場へ移動できます。また、作業は村山荘

と同じく生活のリズム作りの一環として位置づけられていますが、作業に参加されず、散歩や読書等で自分なりの日中活動をしている利用者さんも多くおり、個人のペースで過ごされています。日曜祝日は平日より朝食の時間が30分遅いのも村山荘と違う所です。これは事業計画会議にて利用者さんから出された意見で、休日ゆっくりと過ごしたいという希望が反映されたものです。食事時間の案内放送やチャイムもなく、時計を見ながら利用者が自主的に活動する事を推奨しています。

またクラブ活動や喫茶「バンビ」、美容には講師やボランティアの方々に多く関わっていただいております。毎日のように施設外の方が出入りしています。

自立支援では生活訓練室と一時入所の居室は同じ部屋を利用していますが、各階に個室の訓練室があり、1階にはシャワー室も完備されています。村山荘より実践的に訓練でき、一時入所者もゆっくりと過ごす事が出来るようです。

また個別支援計画書も含めほとんどの業務を福祉見聞録で共有し、データの管理がしやすい環境です。施設長発信の情報誌「たじログ」や社会福祉全般の記事等をパソコン内に取り込み、定期的に発信して下さるので、豆知識も含め教養が広がります。

さつき荘の事を書きましたが、もちろん村山荘にも良い所はたくさんあります。同じ救護施設としてお互いの良い所は活用したり共有していきながら施設間の交流をさらに深める事で、共に成長できれば良いなと思います。

\*\*\*\*\*

村山荘では近年循環型施設としての役割を果たすべく、積極的に長期入院者や刑務所出所後の方の受け入れを行い、自立支援に力を入れ、その人に合った他施設移行も行ってきました。さつき荘だけではなく、他法人の施設とも情報共有をしながら、より一層サービスの充実と質の向上に努めて行きたいと思っています。

(編集委員 廣橋)

# 村山荘 あれこれ

あっという間に2018年も6月に突入ですが、1月からの行事について振り返りたいと思います。各行事については、随時**ホームページ**でも写真付きでご紹介しておりますので、ぜひホームページもご覧ください。

## 1月 賀詞交換



## 1月 初詣 @ 小平神明宮



## 4月 お花見とレクリエーション



## 4月 ゲートボール大会

with さつき荘&富士見町福祉協力員



## 5月 野外料理会

